

# メディアと方言

日本大学文理学部国文学科  
日本語基礎演習2

## はじめに

### ローカルヒーローとメディアと方言

### 観・土産の宣伝に使われる方言

一ヴァーチャル方言のWeb vs 実店舗一

### メディアに現れる関西弁

### 方言キャラクターの比較

一漫画とアニメ、日本語版と韓国語版一

### 二セ方言使用の意識と実態

## あとがき

 検索

# ローカルヒーローとメディアと方言



## 2.4. 四国地方・九州地方・沖縄県

0312116 大川有希

### 2.4.1. 四国地方・九州地方・沖縄県のローカルヒーロー

担当地域、四国地方、九州地方、沖縄県の調査をした。

表3 調査例

ID	県	ヒーロー名	T	F	H	B	P	C
115		輝煌閃光レンジャー						
116		天童野郎とふたなりザン	○	○	○			
117	鹿児島	神楽神楽ハヤト					○	○
118		産島戦隊オカシマン					○	○
119		ソブレンジャー						
120		ネモキキョット					○	
121		響響伝説カゴジマン						
122		お島戦隊カゴジマン						
123		アイラ伝説					○	○
124		響響伝説カゴジマン						○
125		ユズレンジャー					○	○
126		キャプテンクロボタ						
127		まこと戦隊マサムネ						
128		おたん戦隊サツマンジャー						
129		伝説ブタダーBLACK						
130		伝説マン						
131		サクラマン						
132		戦艦ナポレオン					○	○
133		農心戦隊ヤマシロマン					○	○
134		自動車我をおさめ隊						
135		農神農士超人	○	○	○	○		
136	鹿児島県	キョウレンジャーブラック					○	○
137	沖縄	ゴーヤマン						○
138		農心戦隊かぼちせマン					○	
139		30年代伝説カゴジマン						○
140		海鮮戦隊シーレンジャー						
141		シーサーマン						
142		シーサーレンジャー						○
143		農心戦隊シムムズオハンター					○	○
144		地獄伝説ヒーローブタダーマン						
145		ソブレンジャー						
146		シブウマンロボ					○	
147		デブゴキマン						
148		オーラセイバー						
149		スウカマン						
150		農心戦隊カゴジマン						
151		戦艦マブヤー					○	○
152		ローカル戦隊とかしきボンバーズ					○	○

[凡例] T: Twitter, F: Facebook, H: ホームページ, B: ブログ, P: テレビ番組, C: 漫画

三地方のヒーロー全152体を表にし、ヒーローが使っているメディア(項目はTwitter、ホームページ、ブログ、Facebook、テレビ番組、漫画)に○をつけた。(例: 表3)

○が多かったものは、次の通り。

- 1位 沖縄: 琉神マブヤー(6個/6個)
- 2位 徳島: 湯戦士エディー(5個/6個)
- 3位 鹿児島: 農神農士超人(5個/6個)

一番丸が多かった、沖縄の琉神マブヤーを詳しく調べることにした。

また、四国地方、九州地方、沖縄県のヒーローの中で方言を使っているものを一点(方言の基準はTwitter、ホームページ、ブログ、Facebook、テレビ番組(PR動画等含む)内のどれか1つでもそのキャラが方言を使ったかどうか。(漫画については該当物が少ないためカウントせず。また、グッズ展開のみのはグッズのどこかに方言があればカウントとした。))と数え、三地方で方言得点の高低で都道府県ごとにランキングを制作し、さらに都道府県ごとの方言得点平均値を出し考察を行った。

### 2.4.2. 琉神マブヤーとメディア

琉神マブヤー(ゆうじんマブヤー)は、琉球放送で2008年10月4日から12月27日まで放送された特撮番組(2013年1月現在は琉神マブヤー4が放送されている)及び、沖縄県内で展開されているヒーローの名称。マブヤープロジェクトによりキャラクターショー、漫画化、映画化もされた。

演じている人は沖縄出身の俳優が主である。

登場人物のネーミングは英語に由来する語彙や沖縄の語彙、沖縄でよくみられる動物の名前がベースになっているものが多い。

#### ○Twitter

- 日常的な事情や、一般人からの質問、動画配信サイトやテレビで番組が放送されときの宣伝、さらには沖縄語の解説、雑学をツイートしている。
- 方言は文語、文中、文末が極端に変化というよりも、沖縄特有の語彙が見られた。

#### ○Facebook、ブログ

完全にスタッフの手による運営で、方言は番組のタイトルや商品名等で使われていない限り見られなかった。イベント情報に力を入れているように思えた。

#### ○ホームページ

「ストーリー」の場所琉神マブヤー用語解説という項目があり、番組内でよく使われる方言の解説コーナーが開設されている。「キャラクター紹介」の部分ではヒーローと悪役を主に紹介している。紹介には沖縄の方言がとこどこに使われている。

#### ○番組

- 実態に動き、喋っているのが視覚的にも聴覚的にも番組を見ている人にその地方をアピールできていたと感じた。また、番組では単なるローカルヒーローの話だけではなく、子供たちに沖縄の言葉や文化、歴史を伝えていく試みも盛り込まれている。台詞の中に出てくる方言には、あえて解説はつけてはいない。最新の琉神マブヤー4には、放送する場所に関係なくテロップを用いた方言の解説がある。

### 2.4.3. ネーミングについて

公式サイト「キャラクター紹介」と「ストーリー」の「琉神マブヤー用語解説」を見る限り、沖縄特有の語彙が使われているということがわかる。「琉」は琉球、「神」はそのまの意であろうと捉えておく。マブヤーは沖縄の方言で「心、魂、精神」のことを意味するため、これらを組み合わせて、「琉神マブヤー」は「琉球の神の魂」というところではないかと推測する。

### 2.4.4. 都道府県ごとのランキングとまとめ

#### ○ランキング

地方ごとのヒーロー数は四国地方26体、九州地方110体、沖縄県16体であった。また、方言を使っているヒーローの平均は四国地方5.13%、九州地方4.65%、沖縄県2.29%であった。

全体を見てみると、三地方では九州地方のヒーローが全体の約7割を占めている。5位以内には九州地方の県がいくつかランクインしており、この結果から見ると、九州はよく方言が使われているのではないかと考える。

#### ○まとめ

他の県にも言えることであるが、この三地方の県は比較的になからの特徴がある方言が多く、それを入れて「この言葉は何という意味だろうか」と興味を持たせ、そのヒーロー乃至、地方のPRに繋げているのではないかと考える。

#### → 2.1. 調査概要

#### → 2.2. 北海道、東北地方、関東地方(大川有希)

#### → 2.3. 中部・近畿・中国地方(石川智美)